

令和3年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（企画政策部関係分）

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性																											
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。																											
	令和3年度の実績報告																											
	05-01 市街地整備の推進																											
	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代など多様な世代の居住維持や移住による定住促進の取組を進め、定住相談窓口のほか、ホームページやSNSによる情報発信などに取り組みました。 都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めました。令和3年度で江別の顔づくり事業が完了したことなどにより、成果指標である「市街地整備に満足している市民の割合」は、高水準を維持しています。 																											
	05-02 交通環境の充実																											
	<ul style="list-style-type: none"> 生活交通として大きな役割を担う路線バスは、利用者減少や乗務員不足などにより、路線の維持確保が厳しい状況であることから、利用促進を図るため、分かりやすいバスマップや乗り方ガイドの発行、広報周知などを行いました。 市内公共交通は、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動自粛等の影響を大きく受けたことから、市民生活に必要な移動手段を守るため、国の臨時交付金を活用し感染症対策支援として、バス事業者等に対し給付金の支給を行いました。 市郊外部でのデマンド型交通については、豊幌地区では実証運行開始、江北地区では令和4年度からの正式運行開始に向けた支援を行いました。 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備に満足している市民割合（顔づくり（～R2年度まで）、公園、バリアフリー化、上下水道等）</td> <td>%</td> <td>76.7</td> <td>82.7</td> <td>82.7</td> <td>81.9</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>交通環境に満足している市民割合（道路環境、除排雪事業、公共交通）</td> <td>%</td> <td>57.9</td> <td>66.6</td> <td>64.3</td> <td>57.2</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標	市街地整備に満足している市民割合（顔づくり（～R2年度まで）、公園、バリアフリー化、上下水道等）	%	76.7	82.7	82.7	81.9	↗	交通環境に満足している市民割合（道路環境、除排雪事業、公共交通）	%	57.9	66.6	64.3	57.2	↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標																					
	市街地整備に満足している市民割合（顔づくり（～R2年度まで）、公園、バリアフリー化、上下水道等）	%	76.7	82.7	82.7	81.9	↗																					
交通環境に満足している市民割合（道路環境、除排雪事業、公共交通）	%	57.9	66.6	64.3	57.2	↗																						
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>35</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員</td> <td>千人</td> <td>548</td> <td>518</td> <td>385</td> <td>356</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>							「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数	件	3	35	48	48	↗	「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	518	385	356	→								
「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数	件	3	35	48	48	↗																						
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	518	385	356	→																						

政策 08 協 働	政策展開の方向性																			
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。																			
	令和3年度の実績報告																			
	08-01 協働のまちづくりの推進																			
<ul style="list-style-type: none"> 市内4大学が江別市にとっての知的資源、財産であることを踏まえ、大学と地域の連携を進めるため、調査研究助成事業や学生地域活動支援事業の成果を広く発信したほか、自治会等による大学版出前講座の活用推進に向けPRを行ってまいりました。 若い世代の大都市圏流出が課題となっている中、市内4大学に約1万の学生が在籍している地域特性を活かし、学生と地域活動（インターンシップやボランティア活動等）のマッチングをしました。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、地域活動プログラムを実施し、学生が参加することで、学生の地域定着と大学連携の活性化を図りました。 																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合</td> <td>%</td> <td>23.1</td> <td>34.1</td> <td>31.8</td> <td>33.0</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	23.1	34.1	31.8	33.0	↗
政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標														
協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	23.1	34.1	31.8	33.0	↗														

企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数	件	6	10	5	11	↗

政策
09
計
画

政策展開の方向性

効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。
さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。

令和3年度の取組状況報告

09-01 自主・自立の市政運営の推進

- ・12市町村から構成される「さっぽろ連携中枢都市圏」において、近隣市町村と圏域の魅力発信等の各種広域連携事業を実施したほか、広域行政のスケールメリットを生かした行政事務の効率化について検討を行いました。
- ・第6次江別市総合計画の成果をPDCAサイクルを用いて継続的に向上させていくため、まちづくり政策と未来戦略について行政評価に取り組んだほか、未来戦略事業を対象に外部評価を実施しました。
- ・「江別市行政改革大綱」に基づき、時代や環境の変化に合わせた行政運営手法を構築します。そのために、令和元年度に策定した「行政改革推進計画」の下、取組項目に掲げる指標の達成に向けた施策を進めました。

09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進

- ・シティプロモーションでは、食と農を核に札幌圏の子育て世代を主要ターゲットとしたプロモーションとして、フリーペーパーの活用やPRリーフレット作成などのほか、江別シティプロモート推進協議会による官民一体の活動やSNSの活用などに引き続き取り組みました。
- ・広報広聴活動では、広報誌においてタイムリーな特集記事の充実や読みやすい紙面の工夫を進めるとともに、読者の感想を募集するなどして市民が意見を寄せやすい土壌づくりに努めたほか、SNSを積極的に活用し市民が行政情報を入手できる環境整備を進めました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
市政運営に満足している市民割合	%	64.7	73.2	67.5	69.1	↗
行政情報の共有化を感じる市民割合	%	72.7	79.7	74.7	78.3	↗
男女が平等だと思う市民割合	%	48.7	53.1	50.3	50.4	↗

企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	—	87.9	86.0	77.6	↗
「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	93.0	85.6	61.4	65.6	↗
「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	84.8	81.7	76.9	79.9	↗

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	①健康増進活動の推進 「生涯活躍のまち整備事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	133,973	234,874	114,053	256,024	182,996
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	133,973	234,874	114,053	256,024	182,996
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	30.00	31.00	30.00	31.00	31.00
	平均単価 (b)	7,618	7,627	7,687	7,629	7,607
	人件費 (a×b)	228,540	236,437	230,610	236,499	235,817
総 額		362,513	471,311	344,663	492,523	418,813